

第4期第3回 練馬区地域福祉計画推進委員会

書面開催においていただいたご意見について

1 開催状況と協議事項

	時期	協議事項
第4期 第3回	令和4年7月 【書面開催】	令和3年度の取組状況報告 令和4年度の取組について ・町会・自治会の活性化 ・NPO法人（特定非営利活動法人）等の活動支援 ・街かどケアカフェの充実 ・福祉・保健相談窓口でのアウトリーチ支援の充実 ・福祉人材の確保・育成・定着の推進

2 いただいたご意見 ※回答内容の詳細については、担当課へお問い合わせください。

【資料2】 地域福祉計画取組状況報告

質問	回答	担当
<p>[事業番号3] 「つながるカレッジねりま」へのリニューアル</p> <p>卒業生からみて、大きな変化はあったが概ね区職員、同窓会などとの連携が上手くいきていると思います。各種講座などのオンライン公開などは画期的な取り組みです。以下を提案します。①オンライン授業聴講のカレッジ生を募集する。いわゆる通信教育で、カレッジ生の二本立て、二年間ぐらいのZoom開講、無料または奨学生制度も考慮してみる。講師は、優秀なOBにお願いします。②在校生、同窓生の協働でボランティア活動を事業化する。区職員との連携、活動家の派遣場所創出、同窓会のNPO団体化が課題である。</p>	<p>①つながるカレッジねりまでは受講生ではない区民の方も対象として共通講座をリアルタイムでオンライン配信を行っております。また、福祉分野および防災分野の授業では、他分野受講生に向けてオンライン配信を実施しております。なお、福祉分野では、オンラインでの受講を選択できる体制を整えております。</p> <p>引き続き、多くの方にとって受講しやすい環境の整備について検討していきます。</p> <p>②町会・自治会をはじめNPO法人やボランティア団体など、地域で活動する団体への支援に取り組んでいます。区民・産業プラザ3階の「区民協働交流センター」では、地域での活動に関する相談のほか一緒に活動する方を探したり、団体を立ち上げるための相談を受け付けています。引き続き、地域で活動する団体の支援へ取り組んでまいります。</p>	<p>協働推進課</p>

質問	回答	担当
<p>[事業番号7] 「相談情報ひろば」の充実 評価がA→Bに変更になっているがどのような理由ですか。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、規模を縮小して実施したためです。</p>	<p>協働推進課</p>
<p>[事業番号12] 福祉のまちづくりサポーター育成事業の推進 福祉のまちづくりサポーター育成事業の成果が、資料送付で「A」というのはどう評価されたのでしょうか。</p>	<p>コロナ禍で事業や研修会が開催できない状態でしたが、ユニバーサルデザインeラーニングの資料を送付し、自宅で受講いただき、その結果をアンケートでいただくことで、研修会の代わりといたしました。 また、コロナ禍においても区立施設等の整備・改修に係る意見聴取事業は、サポーターの方に参加いただき、継続して実施することができました。 以上のことから、A評価といたしました。</p>	<p>管理課</p>
<p>[事業番号13] 福祉・保健相談窓口を調整するコーディネーターの配置 高齢の視覚障害者が施設入所や入院の必要が生じた場合、ガイドヘルパーが入院先等を探しているケースが多いと思いますが区で支援をお願いします。</p>	<p>区では、福祉・健康・医療などさまざまな分野から総合的に高齢者とその家族を支える地域の窓口として、地域包括支援センターを区内25か所に設置しております。地域包括支援センターは、「医療と介護の相談窓口」にもなっており、医療と介護の両方を必要とする高齢者のために、様々な機関と連携し、在宅療養や認知症などに関する相談に応じる「医療・介護連携推進員」を配置しています。まずはお近くの地域包括支援センターにご相談ください。</p>	<p>高齢者支援課</p>

質問	回答	担当
<p>[事業番号16] ひきこもり・8050 問題への支援の充実</p> <p>現に事件も発生しており、極めて深刻な事態です。本人や家族をどのように支えるか、これにつきると思いますが、個別ケースごとに事情が異なり、要素が複雑に絡み合っているため、なかなか解決困難な事例が多いと思います。それだけに、計画を着実に実行することが求められると思います。</p>	<p>ひきこもり・8050 問題など、複合的な課題を抱える世帯に対しては、関係機関が連携して、それぞれの世帯の事情・ニーズに応じた寄り添った支援を実施し、計画を着実に推進していきます。</p>	<p>生活福祉課</p>
<p>[事業番号18] 住まい確保支援の実施</p> <p>居住支援協議会の活動はとても大切です。関係機関との密接な協議により問題解決の推進をお願いします。</p>	<p>今後も、定期的に居住支援協議会を開催し、関係機関の方々のご協力のもと、事業を進めてまいります。</p>	<p>住宅課</p>
<p>[事業番号18] 住まい確保支援の実施</p> <p>高齢者や障害者等自身で住まい探しが困難な方が多くなっているため、充実した仕組みが必要だと思っております。</p>	<p>区は、不動産団体のご協力により、空き室物件の情報提供事業を行っております。引き続き紹介件数を増やすことに努めてまいります。また、令和3年度から、区は伴走型支援事業を開始しました。この事業は、居住支援法人が、物件見学や契約手続きの際に同行し、転居に必要な助言や貸主側との調整を行うものです。住まい探しが困難な方の状況に応じて、本事業による支援を進めてまいります。</p>	<p>住宅課</p>
<p>[事業番号18] 住まい確保支援の実施</p> <p>視覚障害者は、伴走者がいても大家が了承してくれないと入居できません。</p>		<p>住宅課</p>

質問	回答	担当
<p>[事業番号26-(2)] 駅のバリアフリー化の促進</p> <p>大泉学園駅のホームドアの設置を急いでほしい。カーブしたホーム、急行電車の通過等危険です。駅の高架化もお願いします。</p>	<p>駅ホームの抜本的な安全確保のためには、ホームドアの整備が必要であると認識しています。大泉学園駅は利用者が多く、ホームの幅員が狭いため、ホームドアの設置によりさらに幅員が狭くなることや、ホームの補強が必要などの課題があると西武鉄道から聞いております。区としては、引き続き機会を捉えて西武鉄道にホームドア整備を働きかけていきます。</p> <p>大泉学園駅は平成16年に東京都が策定した踏切対策基本方針において、鉄道立体化の対象区間となっていませんが、駅西側から保谷駅付近は鉄道立体化の検討対象区間として位置付けられています。この区間の立体化に取り組む際は、立体化区間の範囲について関係者等と調整します。</p>	<p>交通企画課</p>
<p>[事業番号26-(2)] 駅のバリアフリー化の促進</p> <p>現在進行中の「西武新宿線立体交差化計画」において、その設計の段階で「ホームドア」の設置を必須とするようアプローチしていかなければと思います。</p>	<p>駅ホームの抜本的な安全確保のためには、ホームドアの整備が必要であると認識しており、鉄道事業者に働きかけてきました。西武新宿線の駅については、連立事業の進捗状況を踏まえ西武鉄道に働きかけていきます。</p>	<p>交通企画課</p>

質問	回答	担当
<p>[事業番号39] イベント等におけるICTの活用</p> <p>UDトークはイベント等で活用しており高評価だが、区の窓口業務にもっと使用促進を望みます。聴覚障がいの方のみならず、老人性難聴ほか最近ではマスク着用の為聞き取りにくい場面もしばしばあります。スムーズな対応には特に有用だと思います。</p>	<p>区は、これまで手話や点字、要約筆記読み上げ装置、UDトークなどを活用し障害者への適切な情報提供や合理的配慮の提供に関する取組を進めてきました。</p> <p>令和4年6月に、障害者の社会参加を促進し、障害の有無にかかわらず、誰もが人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指し、練馬区障害者の意思疎通の促進と手話言語の普及に関する条例を制定しました。これまでの取組をさらに進め、障害者の意思疎通支援事業の充実を図っていきます。</p>	<p>障害者施策推進課</p>
<p>[事業番号57] 生前の安否確認と死後の費用補償</p> <p>重要なことなので、練馬区報でもっとPRしてはどうでしょうか。</p>	<p>緊急通報システムなどによる見守りと緊急時の自宅への駆けつけサービスを提供する高齢者在宅生活あんしん事業について、地域包括支援センターでのチラシ配布や区ホームページなどで周知しています。更に、今年度からICT機器を活用した民間の見守りサービスを紹介する講座について、区報にも案内を掲載して開始しています。</p> <p>また、東京都防災・建築まちづくりセンターで実施している「あんしん居住制度」について、「練馬区住宅施策ガイド」や区ホームページへ掲載するなど、周知に努めるとともに、高齢者基礎調査の結果を踏まえ、「練馬区はつらつライフ手帳」を充実するなど、生前準備の啓発に取り組んでまいります。</p>	<p>高齢者支援課</p>

その他

質問	回答	担当
<p>地域により公的施設の利用の不公平を感じます。例えば「はつらつセンター大泉」はたいへん充実したプログラムで、介護予防の視点で「はつらつセンター」の利用は理想的ですが、南大泉地区の住民が利用するには遠いため、巡回バスなどがあると良いと思います。また、今後の区の高齢化と財源を考えると、「はつらつセンター」の有料化も視野に入れてはいかがでしょうか。</p>	<p>お住まいの地域によって不公平にならないように、敬老館でも介護予防事業を実施しています。お住まいの南大泉地域に比較的近い地域では、東大泉敬老館においても介護予防事業を行っていますので、ご利用ください。ご提案いただいた巡回バスについては、ご意見として頂戴いたします。なお、はつらつセンターは、老人福祉法上の老人福祉センターのため、利用については原則無料と定められております。</p>	<p>高齢社会対策課</p>
質問	回答	担当
<p>急速な少子高齢化に伴い認知症(重、軽ともに)高齢者への対応と対策、各地域の現況の把握が必須だと考えます。</p>	<p>認知症高齢者への支援の充実として、昨年度から練馬区もの忘れ検診を開始し、認知機能の低下のある方々の状況を把握するとともに、検査結果に応じて地域包括支援センターが適切な支援につなげています。また、認知症サポーター養成講座等を通じて認知症への理解普及を進め、認知症の方と認知症サポーターがともに地域活動を行うチームオレンジ活動を行っています。</p>	<p>高齢者支援課</p>
ご意見		
<p>所属している団体で、8月から「家庭訪問型子育て支援 ホームスタート」が利用可能となります。行政とつながって、子育て支援施策を利用できず(せず)孤立している家庭の支援ができたかと考えています。</p>		
<p>前回の委員会で、練馬区では、どこに相談しても関連部署につなげる体制が整っているとの説明を聞き大変心強く感じました。今、困りごとを抱えている人に気づき、相談できる環境をつくり、支援につなげられるよう、練馬区の思いやりの輪が広がるように願います。</p>		
<p>計画の委員を対象に任意で、地域の福祉団体の活躍現場を見学・勉強する勉強(研修)会を企画してはどうでしょうか。</p>		

ご意見

対面が無理でもZoomなどの活用も考慮願います。

【資料3-1】令和4年度の取組について<町会・自治会の活性化>

質問	回答	担当
<p>集合住宅に重点をおいて加入促進を強化するという方針に賛成ですが、定住の意向がない世帯より、定住の意向のある人々が住む集合住宅の加入率を上げる方に力を入れた方が効率的だと思います。町会・自治会とマンション管理組合は法律的に別の存在ですが、国交省の指示を活かしつつ、戦略的にマンション住民の加入率を引き上げる方策を進めてほしいと思います。</p>	<p>令和3年度に作成した「集合住宅における加入促進ハンドブック」では、賃貸マンション・アパートだけでなく、分譲マンション等への働きかけについても記載しています。このハンドブックは既に全町会・自治会に配布していますが、その内容について参考にするよう、機会があるごとに働きかけていきます。</p>	<p>協働推進課</p>
<p>町会への加入促進活動にあたっては、町会の役員会などで話題に上がります。具体的には、①町会活動の周知と魅力あるイベントの実施②集合住宅の加入促進と自治会との共存(ハンドブックの作成)等の取組が重要だと考えます。その一環で、デジタル活用に関する助成金の取組は高評価に値すると考えます。</p>	<p>①新規転入者の方に町会・自治会活動を紹介するチラシや、町会・自治会への加入等相談ができるパンフレットをお渡ししています。区報にも町会・自治会活動について掲載するなど、新規転入者を含め、様々な方に町会・自治会のことを知ってもらう働きかけをしています。</p> <p>②町会・自治会への加入促進にあたっては、イベントの開催等を通しての活動周知や、集合住宅に対する加入案内等に取り組むことが重要であると考えます。区は、こうした加入促進の取組を支援するため、昨年度作成した「集合住宅における加入促進ハンドブック」の活用や、町会・自治会活動をSNSを利用して広報する等、デジタル活用への支援にも取り組んでまいります。</p>	<p>①地域振興課 ②協働推進課</p>

質問	回答	担当
<p>加入促進については、集合住宅入居者の個人を対象にするのではなく、施設管理者（家主）の加入をルール化する必要があると考えます。加入促進はアドバイザー派遣や講習会では進められないのでしょうか。</p>	<p>町会・自治会は自治組織であるため、加入のルール化は難しいと考えています。デジタル活用など様々な支援を実施し、町会・自治会の加入促進につなげていきます。</p>	<p>協働推進課</p>
<p>賃貸の集合住宅の加入率を上げることが困難な状況を踏まえ、持ち家世帯の加入率に数値目標を導入したらどうでしょうか。</p>	<p>区では居住世帯が賃貸か持ち家であるかを把握することは困難であり、それぞれの加入率が把握できないため、持ち家世帯のみの数値目標を導入することができません。ただ、定住世帯の加入率向上は、町会・自治会の活性化には必須であると考えていますので、加入促進の取組を検討していきます。</p>	<p>協働推進課</p>
<p>将来的にも集合住宅が増える中で、集合住宅住民の町会加入が喫緊の課題と思います。町会加入要件の見直しを進め(抜本改革)るべきと思います。現行の町会制度は戸建住民を念頭としたものと思われま。</p>	<p>集合住宅住民の町会加入に対応するため、令和3年度に「集合住宅における加入促進ハンドブック」を作成し、各町会・自治会に配付しました。その冊子を参考にしてもらえよう、機会があるごとに働きかけていきます。</p>	<p>協働推進課</p>
<p>区、町会連合会、宅建協会、不動協会等で加入促進のパンフレット等を転入の時に説明をしていただいているようですが、今後は転入先最寄りの町会等をお知らせしてはどうでしょうか。</p>	<p>宅建協会、不動産協会では、転入者へ最寄りの町会をご案内していますが、転入手続を行う区民事務所では、加入促進のご案内のみとなっています。今後、転入先最寄りの町会のご案内について、検討していきます。</p>	<p>協働推進課</p>
<p>ご意見</p>		
<p>「町会・自治会組織の基盤強化」として加入促進の具体策が取組内容として挙げられていますが、町会組織の幹を太くするようなアイデアの共有も有効です。当自治会では年齢層を拡げるために、日頃の活動負担は無いとの条件で青年部という名の組織を作っています。</p>		<p>地域振興課</p>

ご意見		
当町会では、今年度より町会費を値下げし、途中入会は初年度は無料とする見直しを行いました。「有事の際に大きな力を発揮」よりも「楽しいイベント・ちょっとした相談窓口」に重きを置いて活動しています。		地域振興課
自治会等の活性化を図るためには、日常の地域の中での人と人とのつながりが最も重要であると考えます。個人情報保護などは重要ですが、困っている身近な人に気づき、自然に声をかけるにはどのような手法が効果的なのか等を学ぶ機会があればと思います。		地域振興課
町会・自治会の活動（お祭り、盆踊り、子供会の行事、防災活動など）に地域の介護サービス事業所や介護施設が参加するなど積極的に連携をしていくのはいかがでしょうか。		地域振興課

【資料3-2】令和4年度の取組について<NPO法人(特定非営利活動法人)等の活動支援>

質問	回答	担当
NPOに携わる方やボランティア活動をする方の中には、福祉等に関する様々な資格をお持ちの方や資格等がなくても「誰かの役に立ちたい」という強い思いの方がいると思います。地域福祉に関する知識やマインドの高い方が、身近な地域でそのノウハウを十分に活かし、一区民として、様々な福祉課題への気付きや支援のリーダーとして活躍されるよう、様々な地域活動に取り組む方の相互研究の機会があればと思います。	地域のために活動したい区民を後押しするため、活動に役立つ知識やスキルを学ぶことが出来る「つながるカレッジねりま」を令和2年度から開講しており、福祉分野では、福祉に関する知識やスキルを学ぶことが出来ます。また、修了後に地域活動に取り組むことが出来るよう、個人面談を実施し、地域活動団体の情報提供やマッチングを行っております。	協働推進課

質問	回答	担当
<p>地域福祉は地域活動団体・NPO法人等の活躍なくして成り立ちません。そのために、地域ごとの活動団体同士の交流会を通じての活性化が重要です。協働推進課が中心になって、団体の活動支援を強力に取り組んで頂きたい。令和5年度以降,方向性：B継続となっているが、A充実を目指してほしいです。</p>	<p>町会・自治会をはじめNPO法人やボランティア団体など、地域で活動する団体に対する支援に取り組んでいます。</p> <p>区民・産業プラザ3階の「区民協働交流センター」では、一緒に活動する方を探したり、団体同士が繋がるための相談を受け付けるほか、活動の広報支援や、活動に役立つ講座を実施しています。</p> <p>また、多くの区民に団体の活動を知る機会と参加のきっかけを提供するとともに、団体同士がつながることができるよう「練馬つながるフェスタ」を開催しています。昨年度から、地域を拡大し、区内6か所で開催しています。このイベントには、各開催地域の町会・自治会、NPO法人にもご参加いただいております。</p> <p>引き続き、地域で活動する団体の支援へ取り組んでまいります。</p>	<p>協働推進課</p>
<p>町会や自治会とNPO法人をつなぐ活動は何かしているのでしょうか。</p>	<p>引き続き、地域で活動する団体の支援へ取り組んでまいります。</p>	<p>協働推進課</p>
<p>地域活動団体間の交流の促進が必要であると考えます。</p>		<p>協働推進課</p>

質問	回答	担当
<p>地域福祉計画書の中のアンケート結果として「団体役員の高齢化と後継者不足」「活動を支える担い手の不足」を訴える団体が多いと書かれています。その点についての対策は何か考えているのでしょうか。</p>	<p>地域のために活動したい区民を後押しするため、活動に役立つ知識やスキルを学ぶことが出来る「つながるカレッジねりま」を令和2年度から開講しており、町会・自治会などの地域の活動を体験できる「地域活動体験プログラム」も実施しています。また、区民協働交流センターに「つながる窓口」を設置し、地域での活動に関する相談のほか、地域活動団体の情報提供や団体へのマッチングなどのサポートをしています。</p>	<p>協働推進課</p>
<p>当団体は、居場所づくりのカフェを、パワーアップカレッジの卒業生を中心にボランティアで運営しています。令和3年度の実行委員として参加し、令和4年度も参加しています。今後の取組としての、サポート体制の充実について期待します。可能な限り各団体への事業継続のための助成、支援をお願いしたい。</p>	<p>引き続き、地域で活動する団体の支援へ取り組んでまいります。</p>	<p>協働推進課</p>
<p>区民の認識を向上させる取組が必要であると考えます。</p>	<p>区民協働交流センターでは、ホームページやSNS、紙媒体を活用した地域活動の情報発信に取り組んでいます。今後も地域活動の情報を積極的に周知していきます。</p>	<p>協働推進課</p>
<p>各種セミナー及びイベント等が映像による受講や手話通訳の活用、UDトーク活用など、アクセシビリティにより配慮した形になることを望みます。</p>	<p>各種セミナーやイベント等を開催する際には、誰もが気兼ねなく参加できるように、可能な限りの配慮を行っていきます。</p>	<p>協働推進課</p>
<p>地域のボランティア団体が活動の拠点としたいスペースがありません。地域集会所、地区区民館などの登録条件の見直しを提案します。</p>	<p>区民協働交流センターでは、地域活動団体の活動に役立つ情報を収集・提供しています。団体が活動するために利用できる場所の情報についても、収集・提供できるよう努めていきます。</p>	<p>協働推進課</p>

質問	回答	担当
<p>NPO法人への支援は良いことですが、団体数が増えており、活動内容をよく把握していくことが必要と考えます。</p>	<p>区民協働交流センターでは、団体からの相談窓口を設けている他、団体の登録制度があります。そうした業務を通じて、団体の活動や状況等を把握しています。</p> <p>また、広報支援として、SNSや広報誌により団体の紹介や活動案内を発信していますが、そうした取材の中でも活動内容を把握しています。</p> <p>引き続き、団体への効果的な支援に繋がるよう、地域で活動する団体の状況等を把握に努めてまいります。</p>	<p>協働推進課</p>

【資料3-3】令和4年度の取組について<街かどケアカフェの充実>

質問	回答	担当
<p>いろいろな分野のカフェをどう区民の皆さまにわかってもらえるか、自分に合ったカフェを探しやすくするか、工夫が大切だと思います。</p>	<p>街かどケアカフェの紹介冊子を、地域包括支援センターをはじめ、区民事務所など様々な区立施設で配布しています。この中で常設型・地域サロン型の各カフェの特色を紹介しています。また、区ホームページや、区オリジナルの健康アプリ「ねりまちてくてくサプリ」からも検索できるようにしております。</p> <p>地域サロン型の街かどケアカフェは、コロナ禍で活動を縮小しているところもありますが、のぼり旗を見えやすい場所に設置するなど、今後も地域の方に分かり易いよう、周知してまいります。</p>	<p>高齢者支援課</p>
<p>地域サロン型の街かどケアカフェは、コロナ禍で、本来の機能が発揮できていないように思います。のぼり旗が外からは見えず、地域の方はそこが何をしているところかもわかりづらい状況です。地域の方も参加できる交流事業を実施することはもちろん良いことですが、街かどケアカフェの本来の目的である、相談、交流、介護予防の拠点であること、特に相談の拠点として地域に開かれていることを、あらためて周知等お願いします。</p>		<p>高齢者支援課</p>

質問	回答	担当
<p>街かどケアカフェの活動内容についていろいろな要望が出されているようですが、今後はこれらの要望を取り入れ、質量とも拡充を図ることに期待します。この課題の都内各区の取組状況を教えてください。</p>	<p>今後も地域の皆様にご利用いただけるよう、街かどケアカフェの拡充に取り組んでまいります。</p> <p>他区の実施状況をすべて把握はしておりませんが、例えば品川区の「ほっとサロン」では、多世代の交流の場として、介護予防など様々な活動を実施していると伺っております。今後調査を行い各区の取組状況を把握し、次回の委員会にてご報告いたします。</p>	<p>高齢者支援課</p>
<p>地域サロン型街かどケアカフェを、高齢者に限定せず多世代交流の居場所として展開することを提案します。理由としては、誰でもふらりと寄れる居場所が必要、担当部署の縦割りを排除しすべての相談場所とする、多世代の交流イベントを定期的を開催し認知度を上げる、新規ボランティアの活動場所の拠点とするため。</p>	<p>街かどケアカフェは、高齢者をはじめとする地域住民の方の交流の場です。幅広い年代の方に利用いただく中で課題を発見した際に必要な支援につなげられるよう、重層的支援体制整備の検討ともあわせて、関係機関との連携の更なる強化に向けて取り組みを進めてまいります。</p>	<p>高齢者支援課</p>
<p>活動箇所の増設や、出張(アウトリーチ)系の取り組みより、実施体制についての充実は図られていますが、利用者は固定された地域の高齢者となっている現状があります。介護予防の機能ばかりではなく、本来の機能である全世代の対象者をフォローする居場所の機能や、課題発見機能、縦割りの支援を超えたワンストップ支援機能を発揮するための仕掛けが必要であると考えます。重層的支援体制整備の中への位置づけも明確にすることが、今後の課題になると考えます。</p>	<p>街かどケアカフェは、高齢者をはじめとする地域住民の方の交流の場です。幅広い年代の方に利用いただく中で課題を発見した際に必要な支援につなげられるよう、重層的支援体制整備の検討ともあわせて、関係機関との連携の更なる強化に向けて取り組みを進めてまいります。</p>	<p>高齢者支援課</p>

質問	回答	担当
<p>地域団体運営カフェに対する助成の充実をお願いします。現在は、連携協定団体は名誉職扱いで、広報などの周知とステッカー、のぼり旗の支給にとどまっています。しかしながら公設のカフェ等には給茶機、紙コップなどの支給も見られます。パンフレット等の広報物も自前の状態であり資金的に困窮している状況です。</p>	<p>地域サロン型ケアカフェは、地域で自立して活動されている団体と協定を締結して運営をお願いしています。そのため、本事業を対象とした補助金は現在予定しておりませんが、協働推進課とも連携を図りながら、活用できる他の補助金のご案内や資金調達に関するセミナーの開催など、事業継続への支援をしております。</p>	高年齢者支援課
<p>街かどケアカフェの運営にはスペースが必要です。財源の問題で閉鎖となる連携型サロンがあります。どうか助成してもらえないでしょうか。</p>		高年齢者支援課
<p>街かどケアカフェ運営委員会・懇親会の開催を、コロナ禍終息後、適宜お願いします。</p>	<p>街かどケアカフェの連絡会は、今年度開催を予定しております。開催方法については、新型コロナウイルスの感染状況もみながら、オンライン開催等も含めて検討しております。</p>	高年齢者支援課
<p>素晴らしい取り組みである。開設準備や機能強化などはよいが、一人ひとりの区民目線、区民ニーズに立脚した活動支援を期待します。</p>	<p>今後も利用者のご意見を伺いながら実施しております。</p>	高年齢者支援課
<p>地域サロン型街かどケアカフェの増設を期待します。(現行25→50以上)</p>	<p>既存団体やボランティアセンター、介護サービス事業所等に働きかけ、街かどケアカフェとして協定を結ぶことができる地域活動団体の発掘に取り組んでまいります。</p>	高年齢者支援課

質問	回答	担当
<p>自宅近くでの介護予防の実践は必要だと考えます。また、薬局との連携も進めています。先日光が丘圏域の地域サロン型10か所のうち7か所の事業所が参加して話し合いを行いました。今後も継続して関係づくり、地域づくりを行っていききたいと思います。</p>	<p>交流・相談・介護予防の拠点である街かどケアカフェが、身近な場所となるよう、敬老館からの機能転換による増設や地域住民のサロン活動との協働により、充実に取り組んでまいります。</p>	<p>高齢者支援課</p>
<p>どのような方々がどれくらい利用しているのか伺いたい。</p>	<p>令和3年度は延べ人数で、常設型:17,910人、地域サロン型:7,578人、出張型:7,039人のご利用がありました。主に地域住民、高齢者やそのご家族にご利用いただいています。</p>	<p>高齢者支援課</p>
<p>「街かどケアカフェ」の重要性を感じています。主に一人暮らし高齢者が「久しぶりに会話をした」「いろいろできなくなる事が増えて不安」など直接SOSを出してる場合もあります。街かどケアカフェの増所も大切ですが、そこで携わる人材も必要です。高齢者支援課を中心に「つながるカレッジ」受講生、町会住民など高齢者に関わる人達の連携が大切だと考えます。</p>	<p>区としても、街かどケアカフェの増設に加え、「つながるカレッジ」や「高齢者支え合いサポーター」の修了生が、街かどケアカフェの地域サロン型として新たな団体を立ち上げて活動を開始したり、既に活動している団体の担い手に加わったりしていけるよう、人材の育成を進めることも重要だと考えています。区はこれからも、社会福祉協議会をはじめとした関係機関と連携しながら取り組んでまいります。</p>	<p>高齢者支援課</p>

【資料3-4】令和4年度の実施について<福祉・保健相談窓口でのアウトリーチ支援の充実>

質問	回答	担当
<p>令和4年度の保健相談所の実施として、地域の関係機関との連携とあります。発達障害の早期発見と早期支援は大変重要です。母子保健における乳幼児健診時、保育園、幼稚園などで、支援の必要なお子さんの状況を細やかに情報共有できるシステムがあればと思います。個人情報保護を担保しつつも、年々出生数が減少している子どもたちを、区・関係機関・区民で、ともに地域ぐるみで大切に育てていこうという意識づくり、環境づくりが重要だと思います。</p>	<p>保健相談所では、発達に課題のあるお子さんを早期に発見し、こども発達支援センターや保育園、幼稚園などの関係機関と連携し、切れ目ない支援に努めてまいります。支援が必要なお子さんについては、個々の状況に応じて情報共有を図っています。</p>	<p>保健相談所</p>

質問	回答	担当
<p>地域精神保健相談員と保健師との連携での訪問支援は、受ける家族にとって何よりの支えになりますし、処置入院者等の退院後の支援計画の作成、退院後の支援も同様です。長期入院者や措置入院者の地域移行・地域定着の支援の実施など、コロナで何かと多忙の中であるが、保健相談所の活躍を期待します。</p>	<p>精神障害の方やご家族が安心して地域生活が送れるよう支援を継続していきます。</p>	<p>保健相談所</p>
<p>地域精神保健相談員については、社協の地域福祉コーディネーターとの連携や調整、役割や機能の整理が求められるのではないのでしょうか。アウトリーチを通じた、地域づくりの視点も必要となると思います。</p>	<p>地域精神保健相談員は主に地域から孤立している精神疾患をお持ちの方の個別支援を実施しています。地域生活が円滑に送れるよう、地域づくりの視点を持ちつつ、地域福祉コーディネーターと連携しながらアウトリーチ支援を実施していきます。</p>	<p>保健相談所</p>
<p>地域精神保健相談員の増加が必要であると考えます。</p>	<p>地域精神保健相談員は、平成27年度に2名配置した後、平成30年度に2名、令和2年度に4名配置して、8名体制としています。現在のところ、職員配置は適性と考えております。関係機関との連携を図りチームとしての支援を強化・充実していきます。</p>	<p>保健相談所</p>
<p>地域精神保健相談員8名体制での実績・効果はどのような状況だったか伺いたい。</p>	<p>令和3年度は約200名の対象者に対し約800件訪問支援を実施しました。4年間かわり続けて初めて、ご本人にから相談の発信があった事例などの成果がありました。</p>	<p>保健相談所</p>
<p>発達障害児が増え、学校に行けず居宅にとじこもる児童も増えているので、居宅訪問は重要な支援です。保育園や幼稚園も発達障害児の療育の専門でないので、子ども発達支援センターのアウトリーチは障害者本人・家族、職員全員から要望・感謝される施策と思います。</p>	<p>発達障害への社会的認知度も高まり、こども発達支援センターに寄せられる相談件数は増加しています。引き続き、アウトリーチを含めた丁寧な支援を行っていきます。</p>	<p>障害者サービス調整担当課</p>

質問	回答	担当
<p>地域包括支援センターの「ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業」は単身者世帯や高齢者世帯の支援が必要になる前の方の事前周知や掘り出しに大変役立っていると実感しています。</p>	<p>コロナ禍により、高齢者が自宅で過ごす時間が長くなっています。感染症対策を徹底しながら、引き続き訪問支援事業を着実に実施し、高齢者の見守りに取り組んでまいります。</p>	<p>高齢者支援課</p>

【資料3-5】令和4年度の取組について<福祉人材の確保・育成・定着の推進>

質問	回答	担当
<p>離職防止や定着率向上には、十分な人材、人員の確保が喫緊の課題です。保育で考えた場合、公立保育園が多数あった時代と現在とを比べると、定着率はかなり違うのではないかと思います。潜在的な多くの有資格者が、心身に負担を期すことなく、やりがいをもって、保育、介護等の仕事に復帰できるような施策を展開していただきたいです。</p>	<p>潜在的な有資格者が、保育施設で働けるよう、就職面接会とあわせて就職後に役立つセミナーを実施するなど、仕事復帰をサポートしています。また、離職防止や定着率向上を図るため、処遇改善に繋がる保育士等キャリアアップ研修の実施や、国による保育士等の処遇改善対象者を区独自に拡大して支援しているほか、業務負担軽減のためのICT機器の導入補助を実施しています。今後もこうした取り組みを通じて、潜在的な有資格者を含めた従事職員が、やりがいをもって保育施設で勤務できるよう取り組んでまいります。</p>	<p>保育課</p>
<p>福祉人材の確保、育成、定着は色々難しい面がありますが、計画に示されている施策を着実に実行することが重要と思います。働きやすく、雰囲気の良い職場、プライドの持てる仕事、労働環境、待遇の満足度、やりがいなど色々重要な要素はあると思います。</p>	<p>介護・障害分野では、令和4年度から研修センター事業を統合し、介護・障害福祉サービスの共通課題に対応する人材の確保・育成・定着支援を強化するなど、着実に施策を進めています。研修センターでは、職員の処遇や職場環境の改善に向けた研修等を引き続き実施していきます。</p> <p>保育分野では、人材確保等を図るため、就職面接会などを行う保育人材確保支援事業や、保育所等職員研修、保育士等キャリアアップ研修等を実施しています。また、業務負担軽減のためのICT機器の導入補助を行うなど、職場環境の改善に努めています。</p> <p>今後もこうした取り組みを着実に実施し、人材の確保、育成、定着に努めてまいります。</p>	<p>高齢社会対策課 保育課</p>

質問	回答	担当
<p>看護や福祉職員は、仕事に誇りをもって激務についていますが、激務の割には報われる報酬が支給されていないのが現状です。定着率を上げるのは、難しいと思うが検討をお願いします。</p>	<p>区内介護サービス事業所の処遇改善加算の取得を推進し、介護職員の処遇改善につなげるため、（公財）介護労働安定センターと連携して、処遇改善加算セミナーの開催と個別支援を行うなど事業所の定着率向上への取組を支援しています。</p> <p>また、特別区長会を通じて「必要な人材の確保に向けた取組を拡充するとともに、実態に即した評価やキャリア形成に応じた報酬を担保するなど、人材の確保・定着及び育成のための継続的な施策を実施すること。」を国へ要望しています。</p>	<p>高齢社会対策課</p>
<p>特に介護分野の人材確保については、日本人での充足は困難だと考えます。特定技能1号に位置付けられた「外国人介護人材」を積極的に採用することは喫緊の課題です。法人任せでは進展しません。先行して取り組みを行う法人の事例等も紹介しながら、区としても法人との協力関係の下、外国人人材の活用に向けた取り組みを推進すべきであると考えます。</p>	<p>外国人介護職員の受け入れについては、日本語能力の低さや不十分な受入体制を課題に挙げる事業所が多くなっています。外国人職員の受け入れにノウハウを持つ事業所の先行事例を紹介するセミナーや日本語研修、日本語インストラクター養成研修等を実施していきます。</p>	<p>高齢社会対策課</p>
<p>「高齢者ささえ合いサポーター」受講後の人材の活用が必要だと思います。「フレイルサポーター」も同様です。受講生のほとんどは、修了後の活動場所がなく、専門的な講習内容を受講しているのにそれを生かす場所がない状況です。</p>	<p>「高齢者支え合いサポーター」の活動先は、コロナ禍の影響により活動を縮小している団体もありますが、今後も新たな活動先を増やしていけるよう取り組んでまいります。</p> <p>フレイルサポーター育成研修は、住民主体の通いの場を立ち上げることを目的にしており、研修の中では活動場所を探すための情報提供を行っております。また、修了生の一部は自ら通いの場を立ち上げたり、他団体と協力しながら活動しています。</p>	<p>高齢者支援課 高齢社会対策課</p>

質問	回答	担当
<p>事業者元気を出してもらえような講座をお願いします。</p>	<p>練馬福祉人材育成・研修センターでは、介護・障害福祉分野の専門研修に加え、地域共生社会や介護者支援など各分野の共通課題を学ぶ研修を実施しています。知識や技術の習得だけでなく、研修を通じて、事業者の職員が交流し、連携を深めていくことも研修実施の意義と捉えています。</p> <p>保育所等職員研修では講師のお話から悩み解消の手立て等を考えることができたり、演習や実技も行い、明日からの保育に役立つ、元気や意欲につながる研修も実施しています。</p>	<p>高齢社会対策課 保育課</p>